

人を死なせれば殺人と同じなんです

飲酒事故を少しでも防ぐため、そしてこれ以上悲惨な思いをする人がいなくなるように、警察はあらゆる方向から決断してあきらめることなく、日々飲酒運転撲滅に努めています。今回は、粕屋町の飲酒事故撲滅に取り組んでいらっしゃる粕屋警察署の宮原修交通管理官に飲酒運転事故についてお聞きしました。

Q 飲酒運転の最近の状況を教えてください。

平成23年の福岡県全体の飲酒運転事故は、平成23年11月末現在で240件で前年比マイナス67件です。これは大阪に次いでワースト2位であり、大阪とはわずか15件差です。

粕屋警察署が平成23年中に管内において飲酒



粕屋警察署 交通管理官
宮原 修 警視

飲酒運転根絶に向けてこれからも継続的に粘り強くやっていくと宮原さんは語ります。

運転で検挙した者は、事故を起した者を含めると、56人となっており、平成22年の46人を上回っております。上回っている要因は、住民の皆さんからの110番通報の増加と、警察による飲酒運転取締り強化があげられます。

Q 昨年2月に町内で起きた飲酒運転による高校生死亡事故に関して思われることをお願いします。

将来ある若くて尊い命が大人の勝手な我がままにより一瞬にして奪われました。ましてや当署管内で発生させたことは、警察としては大変に申し訳ない気持ちです。私たちが日々思うのは、このような悲惨な事故は二度と起こさせたくないことです。警察にまず何ができるのか、こういった悪質な飲酒運転をする者を、事故を起こす前に検挙していくことが重要です。高校生2人の死亡事故というのは、福岡県警は非常に重く見ており、平成18年の海の middle の事故に続き複数の被害者を出した飲酒事故です。平成18年の事故を経験して、「飲酒運転は絶対に許さない」ということを県民の皆さんが誓ったにも関わらず、平成22年は全国ワースト1位。県民の飲酒運転撲滅に対する意識が薄れてきたことに非常に危機感を持っております。我々粕屋警察署がこの事故を踏まえてでき



昨年の2月9日に起きた飲酒運転事故現場の献花台。この事故により当時高校1年生の山本寛大君と皆越隼人君が犠牲になりました。

ることは、まずは取締りです。そして市町、関係機関・団体と共同しながら、一人でも多く1市7町の住民の方に直接訴えかけます。このような活動を粘り強く継続的にやらないと、また元に戻ってしまいます。

Q 飲酒運転撲滅に向けたメッセージ、訴えかけたいことをお話し願います。

ドライバーの方々に対しては、飲酒運転というのは故意犯だということを伝えたい。検挙者の中には「事故を起こさなければ捕まらない」「これくらいは量だから大丈夫」と捕まった者はみんなそう言います。飲酒運転をして事故を起こし、人を死なせれば殺人と同様なんです。酒を飲んで運転してはいけないことは分かっているのに、運転してしまふ。飲酒運転は、「大人の勝手な我がままによって尊い命を奪ってしまう許されない行為、飲酒運転は犯罪」ということをドライバーの方々には認識してもらいたいです。

Q 粕屋町では飲酒運転根絶に向けた条例が制定されたり、県議会でも2月に同様な動きがあるようですが、自治体の動きに対してどう思われますか。

昨年2月9日の死亡事故を受けて、粕屋町が主体となって飲酒運転根絶に向けて取り組んでいただいていることに関しては、警察としては非常にありがたく、心強く思っております。粕屋町において悲惨な飲酒事故を起させない。町民が今後ともこの日を忘れずに飲酒運転は反対だと、粕屋町から飲酒運転を撲滅していきますよという強い意志の現われであり、こういった活動を地道にやっていくことが町、福岡県から飲酒運転を撲滅することにつながっていくと考えております。県下においても粕屋町が行っている活動を実際に見習おうとし、飲酒運転撲滅の動きが広がりをみせていると感じております。

福岡県内の飲酒運転による

事故	240 件 (全国ワースト2位)
死者	8 人
検挙者	1,692 人

平成23年1月～11月末日 福岡県警まとめ

アルコールの影響について学びましょう。

アルコールについて知識をもっていれば、いかに飲酒運転が危険な行為かわかります。自分は大丈夫と思っていることが、人生を狂わせる第一歩です。



そもそも「酔う」とはどういう状態？

血液に溶け込んで脳に運ばれたアルコールによって脳が麻痺することが「酔う」ということです。

酒量	酔いの状態
ビール大(1本) 日本酒 (1合)	陽気になる 判断が少しにぶる
ビール大(3本) 日本酒 (3合)	気が大きくなる 大声になる
ビール大(6本) 日本酒 (6合)	千鳥足になる 吐き気がする
ビール大(10本) 日本酒 (1升)	まともに立てない 意識がはっきりしない

※酔いの状態には個人差があります

「酔う」とどうなるの？

大脳の働きが抑えられることによって、本能や感情をつかさどる部分の働きが活発になり、解放感を感じたり、陽気になったりします。しかし、アルコールの量が増えるにしたがって酔いが進み、脳の麻痺も進みます。一般的にはビール3本～6本飲むと知覚や運動能力が鈍り、繰り返し同じ話をしたり千鳥足になったりします。さらに飲酒が進むと麻痺は脳全体に及び、呼吸困難に陥り、最悪の場合には死に至る危険性もあります。

お酒が抜けるまでどのくらいかかるの？

瓶ビール1本分のアルコールを処理するのに、体重60kgの人で3～4時間かかります。つまり、飲みすぎた翌朝に運転することは、飲酒運転である可能性もあるということです。

お酒を飲んで運転にどのような影響がでるの？

- 動体視力が落ち、視野が狭くなります。信号の変化や路上の人や車の動きの見極めが遅れます。
- 抑制がとれ理性が失われているため、運転に必要な判断力が低下しています。スピードを出していても気づかなかつたり、乱暴なハンドルさばきをしてしまいます。
- 集中力が鈍っているため、とっさの状況の変化に対応できなくなります。
- 運動をつかさどる神経が麻痺しているため、ハンドル操作やブレーキ動作が遅れがちになります。
- 体の平衡感覚が乱れ、直進運転できず、蛇行運転をしたりします。

以上のようなことにより、信号無視、カーブを曲がりきれない、横断中の人の見落とし、ハンドル操作の誤り、ガードレールや電柱への衝突などをして、悲惨な事故を招いてしまうのです。

毎年2月9日は「飲酒運転根絶町民運動の日」

粕屋町は、平成23年12月に「粕屋町飲酒運転根絶に関する条例」を制定しました。

これは、町民、事業者等、行政が一体となり飲酒運転のない安全で、安心して暮らすことのできる町を目指すために、県内で初めて制定した条例です。この条例では、町及び公職者としての責務が明確化され、町民、事業者・事業者団体等・酒類提供事業者等には努力義務が課せられています。

「粕屋町飲酒運転根絶町民集会」を開催します。

日時：2月9日（木）午後7時

場所：サンレイクかすや さくらホール

詳細は、チラシや町ホームページなどをご覧ください。

粕屋町協働のまちづくり課
電話：092-938-0173（直通）